

ICT 端末と協働学習支援ツールの活用により、 協働的な学びで表現内容を広げ、深める学習

第3学年

Unit 5

A Legacy for Peace

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 尊敬する人物を紹介する言語活動において、互いのプレゼンテーションを録画して助言し合い、全体交流することで、表現内容を広げたり、深めたりすることができました。

ICT 端末と大型提示装置の活用による効果



ペアで互いに録画した動画をもとに、学び合いを生み出す。

- ・ペアで、尊敬している人物を紹介し合う。
- ・話し手は、聞き手の ICT 端末を使用して、プレゼンテーションを録画する。
- ・ペアで録画した動画を見直し、尊敬する人物の魅力を伝えるためには、どんな工夫が必要か助言し合う。

ペアでの学び合いや全体交流を通して、表現内容を再構築し、プレゼンテーションの改善を図る。

- ・話し合いの内容を全体で共有したり、仲間の動画を観て、そのよさを交流したりする。
- ・各自でプレゼンテーションの修正計画や個人目標を設定し、魅力がより伝わるように原稿を修正し、表現方法を改善する。
- ・修正したプレゼンテーションを再度録画し合う。
- ・聞き手は、よくなったところをコメントする。

教師の指導のポイント

- 全体での中間指導では、本時のねらいに沿って、内容の広がり、深まりについての価値付け、方向付けを行う。
- 中間指導後、生徒が表現内容を再構築するための時間を確保し、個別に状況を見届け、指導・援助を行う。

ICT 端末と協働学習支援ツールの活用による効果



再度録画した動画をもとに振り返り、データを記録する。

- ・聞き手からのコメントや録画した二つのプレゼンテーションを見比べて気付いた自身の伸びと課題について振り返り、記入する。
- ・録画した二本目の動画を、教師と生徒が共有するサーバーに提出する。

教師の指導のポイント

- 提出された動画を確認して一人一人の学習状況を把握し、次時からのフィードバックに生かす。